

支えあうコミュニティ 持続可能な未来へ

武蔵野市議会議員

# 内山さと子

活動報告 2015 早春号 No.24

内山さと子&のびのび歩む会  
〒180-0012 武蔵野市緑町 2-3-A7-501 TEL 080-3758-1057 Email satochi@y8.dion.ne.jp



## 市民が動けば社会が変わる！

2月6日、社会学者の上野千鶴子さんを招いて「市民が動けば社会が変わる！」と題した講演会が、東京YWCA武蔵野センターで行われました。

### 議論する 選ぶとる「選憲論」

昨年7月、集团的自衛権の行使を可能とする閣議決定を強行した現政権は、いよいよ、自衛隊法をはじめとする安全保障体制の転換に着手しようとしています。衆議院だけでなく、参議院でも改憲勢力が3分の2を占めれば、次は国民投票へと、改憲スケジュールが現実味を帯びてきます。

上野さんは、単に改憲か護憲かという二項対立の論理ではなく、議論を闘わせた上でその結果を主体的に選ぶとる「選憲論」を主張しています。また、ジェンダー平等政策公開アンケートでは、改憲に前のめりな政権政党ほど、ジェンダー平等政策には消極的という結果が出ていることが紹介されました。

「ジェンダー」…社会的、文化的につくりあげられた性別。生物学的、生理的特徴と違い、異なる社会間で、求められる役割、態度、行動、属性などは大きく異なる。

### 「自治体」とは「自ら・治める・体」

昨年末の衆議院選挙での投票率は戦後最低の52.66%、有権者のほぼ半分しか投票しない中、民主主義は機能していると言えるのか…。代議制民主主義の限界について、そして選挙権だけではなく被選

挙権を行使するべきではないかと、講演会テーマに迫ります。

3・11以降の官邸前デモをはじめとする市民の行動は、自分たちの社会を他人任せにはしないという当事者としての行動であり、これからの社会の責任は、自ら背負う覚悟が求められます。

4月には統一自治体選挙が行われます。暮らしに最も身近な地域社会であり、民主主義の実践の場である自治体は「自ら・治める・体」と書きます。参加者の意見交換では、子ども連れで参加した女性が、以前「デモや署名活動だけでは社会がなかなか変わらないう、どうすれば？」と、上野さんに尋ねたところ、「それには選挙が一番」という答えが返ってきたエピソードを紹介しました。

さて、自らの体、あなたはどうか治めますか？



2002、2014年、上野千鶴子さんがプロデュースした「市民派議員になるための本」サブタイトルは「あなたが動けば社会が変わる」